



【フィナンシャル情報館株式会社】

2009年にはじめたこの「FP情報通信」。年に3回～4回ずつ発行してきて今回が節目の50回目となりました。つたない文章で読みにくい点もあったと思いますが、皆さんに少しでも当社を身近に感じていただきたい一心で続けてきました。これからも皆さんに少しでも有益な情報を発信していきたいと思ひます。次の節目は100回です。単純計算するとあと約15年かかりますので、精神的にも身体的にも意識して管理していく必要がありそうですね。

地元熊本での産業界の話題といえば、2024年末に生産開始を予定している台湾の半導体世界最大手「TSMC」熊本工場（熊本県菊陽町）の新設です。世界的な半導体不足に対応して日本政府が4000億円以上の助成をしてSONY・デンソーなどが合弁事業を立ち上げました。

1500人程度の雇用を生むそうで、職種はエンジニアから管理系まで多岐にわたり、求める人材のレベルは高く、修士・博士修了者が望ましいとされているそうです。年収は経験に応じて変動するそうですが、600万円～1200万円と熊本県内ではかなりの好待遇です。すでに熊本高専および九州地区の高専で人材教育プログラムの検討を進めているそうです。また、熊本大学では県内外の半導体関連企業と共同で研究施設を2023年春を目途に開設すると発表しました。

人の流入を考慮してすでに不動産価値もじわじわと上昇しているそうです。2022年の公示価格は2年ぶりに全用途平均で上昇し、九州・沖縄では1.5%上昇だったのに対し、新工場の建設を始めている熊本県菊陽町は住宅地の平均変動率が4.6%上昇、商業地も4.3%上昇で、ともに過去10年で最大の伸び率となっているそうです。

先日、熊本県阿蘇市での仕事の帰りに建設予定地を通りかかりました。といっても意識して通ったわけではなく、たまたま通った道が予定地でした。熊本県菊陽町で建設が進んでいるとはメディア等で知っていましたが、菊陽町といってもとても広いので具体的な場所を知りませんでした。

同エリアはセミコンテクノパークと呼ばれ、東京エレクトロン九州やソニーセミコンダクタを代表する半導体関連の一大集積地となっております。あまりにも工事規模のスケールの大きさに車を停めて見入ってしまいました。敷地には途切れることなくトラックが出入りしていて、建設機械の数からみても急ピッチで進められているのがわかります。

一日でも早く生産開始して日本中の半導体不足の解消に繋がってほしいものです。

FP情報通信 2009年夏号 vol.1

～あつと驚くFP講座～

★ 洋銀が値けると火災保険から保険金が

洋銀が値ると火災保険から保険金が... 洋銀が値ると火災保険から保険金が... 洋銀が値ると火災保険から保険金が...

洋銀が値ると火災保険から保険金が... 洋銀が値ると火災保険から保険金が... 洋銀が値ると火災保険から保険金が...

